

令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和05年05月24日

1 事務事業 の 現状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	326	みどりと景観計画推進事業							
	この事務事業 の位置		政策	快適で暮らしやすいまち								
			施策	便利で快適な住環境をつくろう								
			基本事業	景観								
	主管課名		都市計画課			課長名	近藤 健					
	この事務事業の開始時期		平成23(2011)年度			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		都市緑地法、景観法、みよし市水と緑の風景を守り育てる条例									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	緑の基本計画は、都市緑地法第4条第1項に「市町村の緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」として規定されており、市町村がその区域内における緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための計画である。景観計画は、景観法に基づき景観行政団体が法の手続に従って定める「良好な景観の形成に関する計画」のことで、景観まちづくりを進める基本的な計画として、景観形成の方針、行為の制限に関する事項などを定めることができる。「SDGsの取組：11,15」					みどりと景観計画の変更並びに保存樹木等、景観重要建造物及び景観重要樹木の指定についてみどりと景観審議会に意見を聴く。 景観法に基づく景観行政団体であるため、水と緑の風景を守り育てる条例により環境行政を運用する必要がある。						
	R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			法律及び条例に基づき提出された行為届出書を審査し、適合通知書を発行した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	観光立国推進基本計画に基づき美しい国づくりのため良好な景観の形成にかかる取組みが推進されている。				名称		単位					
					①	計画対象区域（市全域）	ha					
		②										
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市民					名称		単位					
		①	人口		人							
		②										
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
景観への意識、関心を高めてもらう。					名称		単位					
		①	届出の受付件数		件							
		②										
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
都市空間の形成や景観に配慮した住環境の整備を図る。					名称		単位					
		①	適合通知書の発行件数		件							
		②										
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
(1)の 活動指標		① ha	3,219	3,219	3,219	3,219	3,219	3,219	3,219			
		②										
(2)の 対象指標		① 人	61,236	61,218	61,375	61,656	61,938	62,219	62,500			
		②										
(3)の 成果指標		① 件	17	30	28	30	30	30	30			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① 件	17	30	28	30	30	30	30			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	04	目	01
コスト		年度	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	35	10,086	6,263	6,412	119	119	119			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	35	10,086	6,263	6,412	119	119	119			
人件費B		千円	2,172	6,342.2	5,792	5,792	5,792	5,792	5,792			
正職員従事時間×人数		時間×人	300×2	438×4	800×2	800×2	800×2	800×2	800×2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	222	222	222	222	222			
トータルコストA+B+C		千円	2,207	16,428.2	12,277	12,426	6,133	6,133	6,133			
単位あたりコスト		① 千円/人	0	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	326	みどりと景観計画推進事業
-------	-----	-----	--------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	景観形成基準に適合して建築物の建築や工作物の建設が行われている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	市全域を景観計画の対象区域としているため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	景観への意識、関心を高めてもらう必要があるため。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	現状で適正である。	
	目的達成状況	内容	景観形成基準に適合して建築物の建築や工作物の建設が行われている。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 法律及び条例に基づき実施している事業である。	
効率性	事務事業の統合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	類似の事業がないため統合できない。 法律及び条例に基づき実施している事業であるため廃止できない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	現状で適正である。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はいないため。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	計画策定にあたっては住民の意見を反映させることが必要	対応策	策定委員会を開催し、住民の意見を反映させる。
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	法律及び条例に基づき提出された行為届出書を審査し、適合通知書を発行した。	変更追加	都市緑地法改正による修正や第2次総合計画及び都市マスタープランとの整合を図る必要があるため、みどりと景観計画の改定を行う。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 平成23(2011)年度に策定した「みどりと景観計画」に基づき、緑の保全や良好な景観を形成するための事業を実施する。 なお、当該計画は、都市緑地法改正による修正や第2次総合計画及び都市マスタープランとの整合を図る必要があるため、令和4(2022)年度から令和5(2023)年度までの2年間で改定を行う。	
	コストの方向性	↓ 減少			
	成果の方向性	→ 維持			